



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年神無月13日

第16号

校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

「不安やあせりを乗り越えて仲間とともに・・・！」

地区・県新人陸上競技大会・ブロック新人大会 開催

9月29日(水)、中体連筑後地区新人陸上競技大会が、10月2日(土)、中体連ブロック新人大会が、両日ともさわやかな秋晴れの空の下、開催されました。

この夏、練習試合もなし、練習そのものも制限された1、2年生が不安やあせりを乗り越えて全力で挑みました。

陸上においては、**さんが走幅跳で優勝、さんが800Mで優勝、さんが1500Mで準優勝、さんが走幅跳5位**で、福岡県大会の切符を手に入れました。

技術的にはまだまだの面もある新人大会です。どの競技会場でも、子どもたちは、失敗をおそれずに懸命にプレーすることができていました。その姿は、本当に輝いていました。

優勝 おめでとう！ 男子バレー部 激闘を制す

男子バレーボール部が激闘を制し優勝することができました。おめでとうございます。ブロックの代表として出場する筑後地区大会での健闘を心から祈っています。また、**サッカー部が準優勝、女子バレーボール部が3位、ソフトボール部が4位、ソフトテニス部が男女とも4位**と健闘することができました。

試合だけでなく、日々の活動においても、物心両面から子どもたちのことを見守り支えていただいておりますことにあらためて感謝申し上げます。

「私たちの歌声を絶やさない・・・！」 明日、文化発表会です

体育大会終了後、すぐに文化発表会への取組がはじまりました。本年度の文化発表会は、やはり現在の状況を鑑みて、明日10月14日(木)に学年別の合唱コンクール、翌15日(金)に吹奏楽部の屋外コンサート並びに3年金賞受賞学級合唱披露、そして展示という形での開催となります。

本年度は、9月末までの緊急事態宣言や音楽室や美術室がある校舎の改修工事のため、文化発表会の開催自体が危ぶまれましたが、職員と子どもたちが「**どうしたらできるか**」を懸命に考えて工夫しながら活動を進めてきました。

9月30日(木)、新しくなった音楽室での授業や部活動ができるようになりましたが、今まで我慢していたぶん、きこえてくる子どもたちの歌声や吹奏楽部の奏でる音色が弾んでいるように感じます。

本年度も、一定の制限を設けさせていただいて、保護者のみなさまにも参観していただくことにいたしました。子どもたちが笑顔で歌声を響かせる姿をぜひ観ていただきますようお願いいたします。

あたらしき 音楽室から 響く声
はずむ音色に 笑顔こぼれる

晴一

「朝日をあびながら 積小の日々！」 ～ 駅伝大会に向けて ～

秋風が少しひんやりと感じる早朝、運動場に目をやると、懸命に走り汗を流す子どもたちの姿があります。一人一人が自己の記録と向き合いながら歯を食いしばってがんばる姿（「積小為大」）や仲間と励まし合い支え合いながら走る姿（「つながり」）は、朝日をあびて輝いて見えます。

本年度は、残念ながら中体連市郡駅伝大会は中止となりました。

子どもたちは、10月28日（木）に開催される筑後地区駅伝大会に向けて日々の努力を重ねています。観戦や応援につきましても、まだまださまざまな制限が設けられると思いますが、子どもたちが練習の成果を発揮することができるように、支えていただきますようお願いいたします。



「受験は団体戦 仲間とともに！」 3年生高等学校説明会



10月4日（月）、5日（火）の二日間、近隣の公立・私立高等学校17校の先生方をお迎えして、各学校の校風や教育内容、卒業後の進路先、部活動等について、特色をわかりやすく話していただきました。

子どもたちは、少し緊張した面持ちで、各高等学校の話真剣なまなざしで聴いていました。

「受験は団体戦」と言われますが、仲間とともに小さな努力を積み重ねていくことを願いながら、「みんながんばれ！」と心の中で叫んでいます。

「思いを言葉にのせて・・・！」 英語スピーチ代表の奮闘

10月4日（月）、5日（火）にお昼の校内放送で、**3年生のさん、さん、2年生のさん、1年生のさん**の4名が堂々としたすばらしい英語スピーチを披露することができました。本来ならば、「小郡市英語スピーチ交流会」で発表するはずでした。発表の場所や方法は変わりましたが、子どもたちは状況を受けとめ、自らの言葉でしっかりと伝えてくれました。

自己を表現することに対してためらうことが多い中、子どもたちの**自ら進んで発表しようとする勇氣と自己を磨こうとする姿**に大きな拍手を送りたいと思います。

小さいけれど大きな感動 その16 テニスボールにこめられた願い

子どもたちが学ぶ教室の机やいすの脚には、黄色いテニスボールがつけられています。これは、机やいすを移動させるときの「ガタガタ・・・」という音がしないようにするためですが、このテニスボールにも歴史があるのです。過去に小郡市内の小学校で、「教室のいすや机を引きずる音で、頭が割れるように痛い」という補聴器をつけていた子どもの訴えからはじまった取組なのです。

そこには、**少しでも静かな環境をつくり、「授業をする先生の声や仲間の発言する声がちゃんと聞き取れるようにしたい」という子ども自身や保護者の願いがこめられていました。**

そして、ボールがつけられたおかげで授業中「ガタガタ・・・」という音が教室に響くことはなくなり、その子どもは、「学ぶよろこび」を実感することができました。また、静かな環境が生まれたことで変化が生まれたそうです。実は、まわりの子どもの言動や生活が少しずつ静かで穏やかなものに変化していったのです。

現在、教室のすべての机やいすの脚にテニスボールをつけるために、近隣の高等学校や関係機関、そして保護者のみなさまにもご協力いただいています。

「学ぶよろこび」を感じてもらいたいという願いがこめられた小さな取組に大きな感動を覚えます。

